

将来のお金の漠然とした不安がある女性の方へ

賢い貯蓄方法

資産形成の仕方

老後資金の貯め方

新NISA&iDeCo お金のことをまるごと学べる!

30代・40代の働く女性とママさんのための

劇的

貯蓄力アップ セミナー In 福島

年間200組が参加する
人気のセミナーが川越に上陸!
大好評/
参加者
満足度 **92%**

開催日時

2025年 **2月15日・24日**

土

月・祝

ご希望の日をお選びください。

会場 **アオウゼ 小会議室 1** 福島市曾根田1-18
MAXふくしま 4階 (曾根田ショッピングセンター)

時間 **10:00~12:00** (受付9:45)

参加費 **無料** 各部限定20名 ※予約必須

初心者
お一人様
参加歓迎

無理な勧誘
追加料金
一切なし

ご夫婦、お友達
ペア
参加歓迎

ご参加特典

人気店のランチ券プレゼント



ANTIQUE (アンティーク)

※画像はイメージです

初心者さん大歓迎

お金のことをわかりやすく解説

お金の基礎知識を学んでみませんか?

ライフスタイルや価値観が変化する今、将来を見据えたお金の作り方への関心が高まっています。経験豊富なファイナンシャルプランナーが、お金の基礎や上手な貯め方、新NISA、iDeCo等旬な情報を丁寧に解説してくれます。年間200組の方が参加する女性のためのマネーセミナーです。

気になるこんなことが学べます!

- ☐ 将来の漠然とした不安がある
- ☐ 教育費の資金準備・家計の見直しの方法
- ☐ 老後や将来の資金形成をしたい
- ☐ 住宅購入を考えているので相談したい
- ☐ 自分にあった資産形成方法を知りたい
- ☐ どんな保険が自分に必要なのを知りたい
- ☐ 初心者からの新NISAやiDeCoの活用術
- ☐ ライフスタイルに沿った資金計画をたてたい

今すぐお申込みを!

完全予約制

こちらのQRから
お申込ください



電話、はがきでもお申込みできます。
ご希望の日を選び、参加者全員の住所・氏名・年齢・電話番号を記入してお送りください。

【主催】 ライフプラン相談室
ふくしまお金の計画ラボ
住所：福島市野田町3丁目4-70-506
【電話】 024-534-3682
【メール】 info@fukushima-lifeplanlb.com

参加者の声

92%の方が
非常に参考になった
と回答

夫婦で参加し考えることに前向きになれました。これからちゃんと一緒に考えて行けそうなのでうれしいです。



初心者で一人での参加だったので最初は不安でしたが、わかりやすかったので安心できました。資産形成の準備もできて良かったです。



将来を不安に思っていました。漠然としたものでした。怖さと苦手意識があったのですが前向きになれました。やっぱりお金の備えが必要ですね。丁寧に相談に乗って頂きありがとうございました。



老後資金(教育資金)対策にも役立つ内容です。

60代の方は相続・贈与・資金活用等の対策のご相談も可能です。

ご子息の方のために参加を希望される場合は、ご本人とともにご参加ください。

あなたのお金は
大丈夫?

まずは何から手を付けたい? 初心者でもわかる資産形成をはじめたい。

老後の資金ってどうする……? 知っておきたい大事なお金のコト!

気になる
ギモン

お金の
専門家に
聞きました

教えて! 私のライフスタイルに合った / お金のハナシ

物価高による生活コストアップ、老後の社会保障システムに対する疑問など、
今を生きる私たちにとって「お金」に関する不安はさまざま。
「貯蓄力アップセミナー」を担当する講師の方にお話を伺いました。

Q 何からはじめていいかわかりません。どんなことから始めればいいですか?

まずは、何にお金がかかるのかを知りましょう。生活費のほか、人生の3大資金と呼ばれる大きなお金の準備について考えることから始めるのがおすすめです。子育て世代の方なら①教育資金②住宅費(ローン)③老後資金がそれにあたります。独身の方の場合は②と③です。

①の教育資金は、たとえば幼稚園から大学まで国公立に通った場合の総額は約800万円です。私立の場合はもっと必要になるでしょう。中でも最もお金が必要になるタイミングは、大学(短大・専門学校)入学からです。入学金や授業料などいわゆる学費以外にも、模試や試験料、物品購入費、また入学までも、学習費、試験料や交通費・宿泊費も必要です。自治体や民間の奨学金などの制度もありますので事前にしっかりと調べておくといでしょう。

②の住宅費は、どんな方も住まいは必要なので賃貸・購入に関わらず必ずかかってきます。たとえば住宅ローンの場合、平均借入額は約4500万円ほど、毎月約8万円の支払い、ボーナス数十万円、35年前後での返済が一般的です。しかし返済が終わっても、マンションは管理費や駐車場代、戸建て住宅は修繕費など「維持費」が必要となります。金融機関によってローンの利率の差などがありますので、住宅の購入を検討している方はしっかりとチェックすることをおすすめします。

最後に③の老後資金に関してです。人生100年時代と言われる今、子育てが落ち着く60歳前後から約40年間分の資金が必要になります。年金の額は、一人ひとりかなりの差があります。今のうちから年金定期便を確認し、自分がもらえる年金の額を把握しておきましょう。

Q 自分に合った貯蓄方法がわかりません。どのように工夫したらいいでしょうか?

ポイントは将来のお金の全体像を把握し、目の前のお金の「流れ」も知ることです。そうすると将来に向けて準備もできるようになります。子育て中の方もそうではない方も、なかなか思うように貯金ができない!と思われる方も多いですが、客観的に家計を見直す、気付かないお金の支出が存在していることもあります。無理に大きく始めるのではなく、固定費から調べてみる、保険証券を見てみるなどできることからやってみましょう。

日本では高校の授業で金融教育がスタートしました。資産形成は様々な方法があります。時間もかかりますので、自分にあったスタイルを理解していくことが大事です。大切な家族のお金のことなので、基礎知識をしっかりとつたファイナンシャルプランナーに相談することも選択肢の一つです。相談料が無料の場合もあるので、プロの力を活用し、効率的に将来に見据えた準備を始めることもおすすめです。

ワイヤー世代に聞いた市場調査 /

お金について「気になっているコト」「すでに実施しているコト」を教えてください

- すでに実施しているコト
- FPの先生に全てお任せ(定期的に面談している)。
 - 子供の学資保険に入っている。
 - 老後資金はiDeCoで貯めている。
 - 夫婦で家計の見直しをしました!専任のFPの先生と話しながら投資信託を始めました!
 - 家計見直し中。外食など、無駄遣いを減らしていきたい。
 - お金のセミナーに参加してみました!

気になっているコト

- iDeCoや新NISAの情報
- 投資信託のこと。リスクもあると思うと踏みだせない。
- 教育資金の貯め方。どんな方法があるのか。
- ふるさと納税ってほんとうにいいの?
- 老後資金が未知すぎる。今で精一杯。
- 夫婦で資金形成の話をしているかどうか。
- 年金ってもらえるのか……。
- 私の生命保険は大丈夫?無駄のない減額方法が知りたい。